

# 第1号議案 平成28年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

## I 事業期間

平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日

## II 事業の成果

設立15年目として、ISO9001, ISO14001 新規格の普及の支援活動を中心に展開してきた。新規格への移行準備が本格化しており、MSの関心度が上がる傾向がみられる。また、会員拡大、コンサル事業の推進が今後期待できる状況にあるが、当初の自己宣言型認定事業や内部監査の代行事業の拡大は進んでいない。ISO14001 自己宣言型の継続を1社実施し、内部監査の代行も1社が継続されている。セミナー事業等に関しては、新規格の勉強会・研修会を成功させ、ISO 有効活用センターの認識と知名度が拡大し、一定の研修会参加者の獲得が組織の維持に貢献できた。特に、滋賀県環境保全協会と連携して研修会を実施できたことは、今後の連携事業に道ができ、活動の活性化が期待できる。

会員拡大では、正会員、賛助会員ともに新規拡大はなかった。運営体制等は、昨年と同様に2か月に1度の理事会が定期的実施できた。

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) セミナー事業

滋賀県環境保全協会と連携して、有料の新規格研修会を滋賀で実施し、講師派遣に協力し、テキストを普及した。京都で有料研修会を14001、9001ともに1回開催できた。無料勉強会は、2回実施し、定員をオーバーするほど盛況であった。また、今後、滋賀県環境保全協会と連携して内部監査員のスキルアップ研修を企画することになった。

#### (2) コンサル事業

##### ・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】相談先企業において実施

→QMSの相談、EMSの内部監査相談が1社あった。

##### ・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】新規のEMS支援、QMS支援はなかった。

#### (3) ISO 監査事業

1) 【内 容】第三者による内部監査代行 (ISO14001、ISO9001)

【実施場所】滋賀県の精油プラント会社1社の定期監査の代行を継続実施した。

2) 【内 容】自己宣言型 ISO の認定及び認定更新

【実施場所】化粧品製造会社の1社に関して、ISO14001の自己宣言型監査の継続を実施した。

## IV 社員総会の開催状況

平成28年度総会は、平成28年5月28日(土)に長岡京市バンビオ1番館配膳試食室で開催、16名(正会員24名の内)が参加し、平成27年度事業報告書、事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の承認事項を承認した。また、28年度の事業計画書、予算書案について議論し、承認をした。続いて、役員改選を行い、9人の理事すべてが再任され、監事も再任を承認された。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり、偶数月の適当な曜日を理事会時に打ち合わせにより定めて、以下の日程で実施した。

平成28年度

第1回	2016.04.23(土)	17:30~18:30	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第2回	2016.06.25(土)	18:00~19:00	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第3回	2016.08.20(土)	18:00~19:00	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第4回	2016.10.15(土)	17:30~19:00	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第5回	2017.12.24(土)	18:00~19:00	長岡京市バンビオ1番館	配膳試食室
第6回	2017.02.25(土)	17:30~18:30	長岡京市バンビオ1番館	MR2

## 第2号議案 平成28年度 特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成28年4月 1日 から 平成29年 3月31日

(単位 円)

科 目	決算	今年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	0	100,000	-100,000	
賛助会員入会金収入	0	100,000	-100,000	
2 寄付金		0	0	
会員寄付	5,000			岸氏、金氏
その他寄付	0			
3 事業収益				
セミナー事業	146,000	200,000	-54,000	QMS、EMS12名分、テキスト代
コンサル事業	0	140,000	-140,000	
監 査事業	276,280	500,000	-223,720	ミロット自己宣言、堀川化成監査代行
4 その他収益				
受取利息	2			銀行利息
当期経常収益 合計(A)	427,282	1,040,000	-612,718	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	210,000	520,000	-310,000	
(2)その他経費				
会議費	17,605	70,000	-52,395	
旅費交通費	33,040	90,000	-56,960	研修会、監査講師交通費
広報費	29,699	100,000	-70,301	さくらレンタルサーバー料、更新料
印刷費	20,000	40,000	-20,000	研修会テキスト作成費
事務費	25,639	30,000	-4,361	プリンターインキ代、ISO図書費
通信費	720	10,000	-9,280	
支払手数料等	1,242	5,000	-3,758	振込手数料、印紙代等含む
その他経費 計	127,945	345,000	-217,055	
事業費 計	337,945	865,000	-527,055	
2 管理費				
(1)人件費	0	20,000	-20,000	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	9,846	20,000	-10,154	会場費 4,650円 お茶代等5,196円
旅費交通費	17,120	40,000	-22,880	理事会交通費(改訂後上限3000円)
印刷費	0	20,000	-20,000	
事務費	0	20,000	-20,000	
通信費	0	10,000	-10,000	
支払手数料	270	5,000	-4,730	
その他経費 計	27,236	115,000		
(3) 予備費	0	40,000	-40,000	
管理費 計	27,236	175,000		
当期経常費用 合計(B)	365,181	1,040,000	-674,819	

当期經常増減額(A) - (B) = (E)	62,101	0
III 經常外収益 固定資産売却益等 經常外収益 合計(C)		
IV 經常外費用 固定資産売却損等 經常外費用 合計(D)		
当期經常増減額(E) + (C) - (D)	62,101	0
前期繰越正味財産額	268,227	268,227
次期繰越正味財産額	330,328	268,227

# 平成28年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成29年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金	330,328		
未収金	0		
流動資産合計		330,328	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			330,328
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
3 正味財産の部			
前期正味財産		268,227	
当期正味財産増加額		62,101	
正味財産合計			330,328
負債及び正味財産合計			330,328

# 平成28年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成29年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金 UFJ銀行	330,328		
未収金	0		
流動資産合計		330,328	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			330,328
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			330,328

2017（平成29）年5月5日

## 監査報告書

特定非営利活動法人アイ・エス・オー有効活用センター  
理事長 若井郁次郎 殿

監事 吉川了平公認会計士事務所

公認会計士 吉川了平



私は、特定非営利活動法人アイ・エス・オー有効活用センター定款第31条の規定に基づき、特定非営利活動法人アイ・エス・オー有効活用センターの2016（平成28）年4月1日から2017（平成29）年3月31日までの会計年度における財務諸表、すなわち、貸借対照表、事業活動計算書、および財産目録、並びに特定非営利活動法人活動の執行状況の適法性ないし妥当性について監査をおこなった。

### 監査意見

私は、上記の財務諸表が、わが国において一般に公正妥当と認められる特定非営利活動法人の会計の基準に準拠して、特定非営利活動法人アイ・エス・オー有効活用センターの財政状態および収支の状況をすべての重要な点において適法かつ適正に表示しているものと認める。

また、特定非営利活動法人活動の執行は、定款並びに理事会の決議に基づき効率的、有効的かつ経済的に、また誠実かつ適法に行われているものと認める。

以上

# 第3号議案 平成29年度事業計画書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

## I 事業の実施方針

- ・平成29年度は、ISO14001, ISO9001の規格移行が本格化する年度であり、移行審査と並行しての対応が求められる。新規格の移行ノウハウや内部監査員のスキルアップの事業を推進することを目指す。
- ・事業活動としては、改訂新規格に関連したセミナーやコンサルに力を集中し、同時に自己宣言型ISOの認定監査を拡大普及する。昨年度と同様に省エネ支援を始め、企業の要望と支援内容を多様化して進める。
- ・ISOの認証済企業へのアプローチを滋賀県環境保全協会と連携し、滋賀県での更新作業の支援を強化し、内部監査員の新規格スキルアップ研修会の実施、自己宣言型ISOの認定やISOのスリム化、見直し、「見える化」、電力コスト削減、IT化促進の改善を呼びかける。
- ・また、ISO関連分野としてエネルギーマネジメントシステムの普及、省エネ活動、節電事業に努力をする。
- ・広報的な協力に関して公的な団体、組織との連携を強化する。

## II 事業の実施に関する事項

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) セミナー事業

【内 容】ISO改訂新規格の移行セミナー、内部監査員セミナー

【実施日時】随時実施予定（概ね有料4回 無料2回）

【事業の対象者】ISO取得済企業のISO担当者、ISOの構築に興味のある方

【収入】20万円（5000円×10人×4回）

【支出】講師料（有料8万円 無料2万円） 交通費1万円

印刷費1万円 会議費3万円 計15万円

#### (2) コンサル事業

- ・無料ISO相談、無料省エネ診断等

【内 容】移行・運用の無料相談

【実施場所】電話相談、企業先訪問

【事業の対象者、方法】新規格移行の組織、団体：電話、メール相談

【収入】0円

【支出】講師謝金5万円（1回5,000円） 交通費2万円

省エネ相談・診断等の交通費は、相談企業の実費負担とする。

- ・企業支援

【内 容】ISOコンサル（移行更新、スリム化、有効活用）

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収入】7万円×2社 = 14万円

【支出】講師料1社5万円×2社 = 10万円

会議費1万円 交通費等：1万円 合計12万円

（コンサルは概ね1日7時間対応を想定）



(3) ISO 監査事業

【内 容】 第三者による自己宣言型 I S O 認定の内部監査及び内部監査の代行

【実施場所】 要構築希望団体

【実施日時】 適時

【事業の対象者】 要内部監査希望団体

【収 入】 10 万円 (1 日/回) × 4 社 = 40 万円

認定書発行費用 5 万円 × 2 社 = 10 万円

合計 50 万円

【支 出】 講師料 1 社 6 万円 (1 日/回) × 4 社 = 24 万円

成約謝金 4 万円 (新規) 会議費 2 万円 交通費 4 万円 事務費 3 万円

印刷費 1 万円 通信費 1 万円

認定維持内部監査チェック人件費 1.5 万 × 2 社 = 3 万円

合計 42 万円

(4) 情報発信・広報事業

【内 容】 H P を更新し、情報発信に努める。メールによる内部監査代行の宣伝  
自己宣言型認定監査の普及、ISO 改訂情報を P R

【収 入】 0 円

【支 出】 10 万円 (レンタルサーバー使用料等 1 万円 H P 更新メンテ費 5 万円

会議費 1 万円 交通費 1 万円、印刷費等 2 万円)

# 第4号議案 平成29年度 特定非営利活動に係る事業活動予算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成29年 4月 1日から 平成30年 3月31日

(単位 円)

科 目	予算	前年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	100,000	100,000	0	10人見込み
賛助会員入会金収入	100,000	100,000	0	5社見込み
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	200,000	200,000	0	4回予定、40人見込み
コンサル事業	140,000	140,000	0	2社見込み
監 査事業	500,000	500,000	0	2社見込み
4 その他収益				
受取利息	0	0	0	
当期経常収益 合計(A)	1,040,000	1,040,000	0	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	520,000	520,000	0	セミナー、監査代行講師
(2)その他経費				
会議費	70,000	70,000	0	
旅費交通費	90,000	90,000	0	営業旅費を含む
広報費	100,000	100,000	0	レンタルサーバー料等 HP更新メンテ費用 成約謝金
印刷費	40,000	40,000	0	
事務費	30,000	30,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	印紙代含む
その他経費 計	345,000	345,000	0	
事業費 計	865,000	865,000	0	
2 管理費				
(1)人件費	20,000	20,000	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	20,000	20,000	0	会場費、お茶代等
旅費交通費	40,000	40,000	0	理事会交通費
印刷費	20,000	20,000	0	総会等資料コピー代
事務費	20,000	20,000	0	事務用品、封筒
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	
その他経費 計	115,000	115,000	0	
(3) 予備費	40,000	40,000	0	

管理費	計	175,000	175,000	0
当期經常費用	合計(B)	1,040,000	1,040,000	0
当期經常増減額(A) - (B) = (E)		0	0	0
III 經常外収益				
固定資産売却益等				
經常外収益	合計(C)	0		
IV 經常外費用				
固定資産売却損等				
經常外費用	合計(D)	0		
当期經常増減額(E) + (C) - (D)		0		
前期繰越正味財産額		330,328	268,227	
次期繰越正味財産額		330,328		